



# 第50回

# 新居浜高専工業技術懇談会

日時 平成24年11月16日(金) 14:00～16:40  
会場 新居浜高専 視聴覚教室

## 『環境・エネルギーについて考える！』

### ～次世代に向けた夢の技術～』講演会

14:05～

演題1 『「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現に向けて』  
—Hondaにおける再生可能エネルギーの利用と取組みについて—  
藤澤 義和 氏  
(株)本田技術研究所 新エネルギーシステム研究室室長(上席研究員)

15:25～

演題2 『液中プラズマが拓く水素社会』  
—廃油で水素自動車を走らせる！—  
野村 信福 氏  
(愛媛大学大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授)

◎ 参加ご希望の方は、裏面の申込書によりお申し込みください。  
なお、参加料は無料です。

— お問い合わせ —  
新居浜高専 総務課  
TEL : 0897-37-7703、7706 FAX : 0897-37-7842  
E-mail : tiren-c@off.niihama-nct.ac.jp

主催：新居浜高専  
共催：(財)東予産業創造センター、新居浜商工会議所、愛テクフォーラム  
後援：新居浜市、えひめ産業振興財団、フロンティア企業クラブ



## 講演概要

### 演題1 「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現に向けて

－Hondaにおける再生可能エネルギーの利用と取り組みについて－

植物由来のバイオエタノール燃料は、石油への依存を減らすことや地球温暖化を防止できることから注目を集めていますが、原料の大半が作物の食用部分を使っているため食糧供給とのバランスがとれないことが課題となっています。

解決策の1つとして、セルロース類（稲藁、茎など非可食部分からバイオエタノールを精製しようとする試みが検討されています。

Hondaは、(財)地球環境産業研究機構（RITE）の開発した特殊な菌を用いて、世界で初めて量産に適用可能な技術を2006年に確立し、さらに2010年からは大規模な実験施設による研究を進めています。

### 演題2 液中プラズマが拓く水素社会 －廃油で水素自動車を走らせろ！－

水素は、二酸化炭素をまったく排出しないエネルギー源であり、温暖化問題や大気汚染問題を解決すると期待されています。また、化石燃料、水、バイオマスなど様々な物質から製造が可能のため、エネルギー源の多様化や分散型エネルギーシステムの構築も可能です。水素化社会実現に向けて、廃油から水素を取り出し、廃油の処理コスト削減と環境への負荷を減らそう試みが検討されています。

愛媛大学では、2002年に世界で初めてマイクロ波を使った液中プラズマを発生させることに成功しており、この技術を利用してあらゆる産業から排出される廃油から水素を取り出し乗用車を走らせようという世界初のプロジェクトを進めています。

## 新居浜高専工業技術懇談会参加申込書

会社・役職名等	氏名

【送信先】新居浜高専  
総務課総務企画係  
(FAX:0897-37-7842)

### アクセス

- ◆ JR新居浜駅から約2km
- ◆ JR新居浜駅から徒歩約20分
- ◆ 「市役所前」バス停から徒歩約10分
- ◆ JR新居浜駅からタクシーで約5分

